

東北学院大学 五橋キャンパス



外観

東北学院大学の「五橋キャンパス」は、仙台市中心部に位置する、都市型（アーバン）キャンパス。当計画により、3つの地域に分かれていたキャンパスがひとつに統合される。



TGUリング

講義棟・シュネーダー記念館・研究棟・押川記念館からなる4つの建物を繋ぐ「TGUリング」。4棟の回遊性を高め、学生同士が移動しながら対話・交流する場となっている。



講義棟 男性トイレ洗面コーナー

「学校のトイレ=きれいで落ち着く・友達とのコミュニケーションの場」となるよう、明るく清潔感のある白を基調とした空間。大きな荷物も置きやすいよう、奥行きのあるツインデッキカウンターを設置している。



講義棟 男性トイレ小便器コーナー

多人数の同時使用を想定し、9台の自動洗浄小便器を設置。器具の間にはフックを設け、荷物配慮を充実させている。



講義棟 女性トイレ 全体

学生が集中する講義棟においては、トイレの面積を広めに確保し混雑時の利用に配慮。数名が同時に手を乾かすことができるよう、クリーンドライ（ハンドドライヤー）を2台設置している。



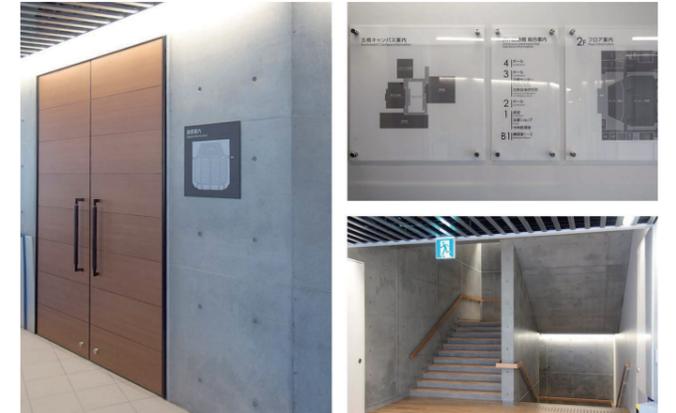
講義棟 女性トイレスタイリングコーナー

同時に多人数での使用が可能な大型鏡を配したスタイリングコーナー。回遊できる「ロの字型」のレイアウトにすることで、混雑時の利用に配慮。棚の下には、荷物用のフックを付けている。



講義棟 女性トイレ大便器コーナー

清掃のしやすさや省エネを考慮して器具を選定。大便器には、床の清掃性がよい壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用。体調不良など緊急時のために呼出ボタンを全ブースに設置している。



押川記念館 多目的ホール入口

キャンパス内には、地域の方々も自由に訪れることが可能なオープンスペースを整備。パイオルガンを備えた多目的ホールは、コンクリート打ち放しの壁と木材を調和させたスタイリッシュな空間。



押川記念館 トイレサイン

トイレサインは、性的マイノリティに配慮し、色分けをせずに黒で統一。天井の黒色と連動している。



押川記念館 多目的トイレ 入口

さまざまな身体状況の利用者を想定し、押川記念館では、1Fにのみ隣り合わせに多目的トイレを2ヶ所設置。男性、女性トイレ同様に清潔感ある白を基調とした空間となっている。



押川記念館 多目的トイレ

車いす使用者や、オストメイトに配慮した汚物流しを備えたコンパクト・バリアフリートイレパックを設置。さらに、ベビーシートやベビーチェアを設置し、乳幼児連れにも配慮している。



押川記念館 トイレ入口

奥まった位置にあるトイレでも、わかりやすくトイレ位置へと誘導できるよう、飛び出しサインを採用している。

東北学院大学 五橋キャンパス



押川記念館 男性トイレ
洗面コーナー

洗面コーナーには、ツインデッキカウンター（スペースアップタイプ）を向かい合わせに配置。打ち放しのコンクリート壁が空間のアクセントになっている。



押川記念館 男性トイレ
小便器コーナー

シンプルなデザインと節水機能が両立した壁掛型の自動洗浄小便器を設置。大便器ブースはブース壁を天井まで立ち上げることで、防犯対策とともに、個室感を高めている。



押川記念館 女性トイレ
全体

洗面コーナーには、棚の奥行きが600mmのツインデッキカウンター（スペースアップタイプ）を採用。洗面カウンター横には、呼出ボタンを設置している。



押川記念館 女性トイレ
スタイリングコーナー

スタイリングコーナーには、多人数での同時使用が可能な大きな鏡を設置。さらに、鏡のない荷物コーナーを併設することで、混雑時やささまざまな使い方に配慮している。



押川記念館 女性トイレ
大便器ブース

操作ボタン部分に英語・点字を併記したウォッシュレットPSは、「止」「おしり」ボタンに基準位置を示す触覚記号を採用。洗浄ボタンは、押すたびに発電するエコリモコンを設置している。



講義棟 トイレ図面



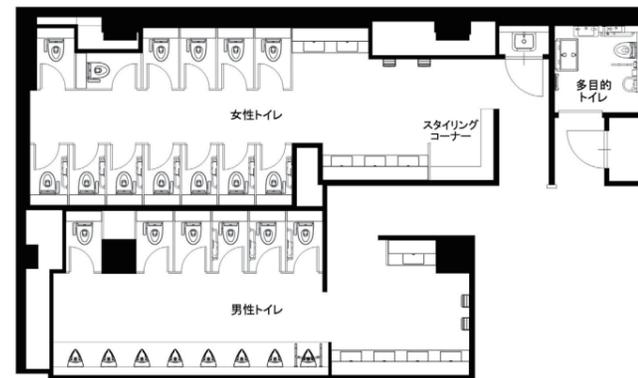
押川記念館 食堂

地域の方も自由に訪れることができる食堂。入口には、手洗いができるように、洗面カウンターを設置している。



押川記念館 食堂
洗面コーナー

3人同時に使用可能な洗面カウンターには、衛生面に配慮して自動水栓とオートソープディスペンサーを採用。個別鏡も設置され、食前はもとより、食後のチェックもできるよう配慮されている。



押川記念館 トイレ図面

水まわりの特長

建物の特徴

「東北学院大学」は、1886(明治19)年に開校された私塾「仙台神学校」を起源とする東北最大の私立総合大学。このたび、教養教育型の総合大学としての魅力を発揮し、キャンパスライフのより高度な展開を図るため、「東北学院大学キャンパス整備計画」に則り、仙台市の青葉区、泉区および多賀城市の3つの地域に分かれていたキャンパスを、仙台市中心部に近い土樋・五橋地区に統合。学都仙台における交流拠点として市民に開かれた都市型(アーバン)キャンパスとすることを目指した。講義棟・シュネーダー記念館・研究棟・押川記念館からなる4つの建物を繋ぎ、回遊性を高める「TGUリング」をキャンパス計画の中心に据え、活動を見られる関係を作り、文理融合による交流を活性化、シナジー効果を高める。

水まわりの特長

「学校のトイレ=汚い」というイメージを払拭するため、「学校のトイレ=キレイで落ち着く・友達とのコミュニケーションの場」となるよう、明るく清潔感のある白を基調とした空間。また、だれもが快適に使えるトイレを目指し、色彩計画・サイン計画において建物全体で統一。性的マイノリティ配慮としては、内装やサインをなるべく色分けしない計画が採用された。さらに、さまざまな学生が利用しやすいように多目的トイレを基本的に各階に設置し、一部には多目的ベッドやおストメイト用の汚物流しを備えている。学生が集中する講義棟の女性トイレには、混雑時の利用に配慮して、回遊型にレイアウトしたスタイリングコーナーが設けられるなど、清潔さあふれる統一感の中にも、各棟の特性が活かされている。

建築概要

名称	東北学院大学 五橋キャンパス
所在地	宮城県仙台市若林清水小路3-1
施主	学校法人 東北学院
設計	株式会社 佐藤総合計画
施工	竹中工務店・銭高組・橋本店・仙建工業特定建設工事共同企業体
竣工年月	2022年9月
敷地面積	17,557.15㎡
建築面積	9,150.00㎡
延床面積	65,077.00㎡
構造・階数	鉄骨造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造・地下1階、地上16階

おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CLN
ウォッシュレットP:TCF589AUP
棚付二連紙巻器:YH701
自動洗浄小便器:UFS900系
小便器手すり:T112CU22
ツインデッキカウンター(スペースアップ):MDWE
洗面器:L532
壁付自動水栓:TENA126A
台付自動水栓:TLE26506J
クリードライ(ハンドドライヤー):TYC420W
コンパクト・バリアフリートイレバック:UADAK21R*A1A**1WA
ベビーシート:YKA25S
フィッティングボード:YKA41R